

*愛・結婚…たくましく生きる女性の姿を鮮明に描いた感動の名作!



SALLY FIELD
BEST ACTRESS
AWARDED
CANNES '79

79年カンヌ映画祭主演女優賞受賞

昭和54年度芸術祭参加作品

Norma Rae



サリー・フィールド
ロン・リーブマン
ポー・ブリッジス
バット・シングル
バーバラ・バクスリー

パナビジョン/カラー作品

ノーマ・レイ

監督マーチン・リット/製作タマラ・アセイエフ♦アレックス・ローズ/脚本アービング・ラベッチ♦ハリエット・フランク・ジュニア/撮影ジョン・A・アロンソフ/音楽デビッド・シャイア
主題歌「流れるままに」作詞ノーマン・ギンベル♦作曲デビッド・シャイア/レーモン・ルフェーヴル・グランド・オーケストラ(パークレイ・レコード)マーチン・リット/ローズ=アセイエフ作品/FOX映画



★スタッフ

監督……………マーチン・リット
 製作……………タマラ・アセイエフ
 ……………アレックス・ローズ
 脚本……………アービング・ラベッチ
 ……………ハリエット・フランク・JR.
 撮影……………ジョン・A・アロンソ
 音楽……………デビッド・シャイア
 主題歌「IT GOES LIKE IT GOES」
 (作詞)ノーマン・ギンベル
 (作曲)デビッド・シャイア
 (歌)ジェニファー・ウォーンズ

★キャスト

ノーマ・レイ……………サリー・フィールド
 ルーベン・ワーショフスキー……………ロン・リーブマン
 ソニー・ウェブスター……………ポー・ブリッジス
 パーノン・ウィチャード……………バット・ヒングル
 リオナ・ウィチャード……………バーバラ・パワスリー
 ボニー・メイ・パファム……………ゲイル・ストリックランド
 《上映時間=1時間55分》



★カンヌ映画祭主演女優賞に輝く20世紀フォックスの女性映画路線の決定版!

「愛と喝采の日々」「ジュリア」「結婚しない女」と三作品とも昨年のベストテンに入選した名作を贈った20世紀フォックスの女性映画路線は、映画を愛するすべての人たちに熱烈な支持をえて、興行的にも大ヒットしましたが、この路線の決定打として早くも今年のベストテン入選確実という絶讃を集めている愛の名作がやってきました。

昨年のカンヌ映画祭主演女優賞は「結婚しない女」のジル・クレイバーク、そして、今年はこの作品でサリー・フィールドが主演女優賞に輝き、連続でフォックスの女性映画はカンヌを征服し話題を集めています。

しかも、この「ノーマ・レイ」は、世界でも数少ない女性プロデューサー(タマラ・アセイエフとアレックス・ローズで「ビッグウェンズデー」で有名になった)によって作られたほんものの女性映画。

アメリカのマスコミは「見るものを気力の高さのレベルに引き上げる勇気のある映画。『ロッキー』の女性版といえる」(ABC-TVのロナ・パレット)——「奇跡の類の映画。サリーの力強い演技は永遠に忘れられない。感動的だ」(レックス・リット)と激讃。

サリーの演技は次期アカデミー賞でも最有力候補といわれています。

★名匠マーチン・リットが働く女性の愛と哀しみを描く愛の感動作!

「ハット」「コンラック先生」などヒューマニズムあふれる名作の数々を作った名匠マーチン・リットが、現代アメリカ南部の紡績工場に働く社会の下積みの女性を描いて、全世界の女性に深い共感をあたえた秀作です。

ノーマ・レイという身持ちが悪く、無知で先生との間にできた二人の子供をつれた女工さんが、いかに働くものの連帯感、社会的責任、女性としての自立に愛と結婚を通してめざめていったかを感動的に描いています。

母は長年の間、騒々しい音をたてる工場内で働いてきて、いまはすっかり耳をやられています。父も工場で働きつめて疲れ切っています。保安設備も、慰安設備もなく工員たちは会社にコキ使われて、工場には組合もないという状態です。

この町にニューヨークからルーベン(「ホット・ロック」のロン・リーブマン)が、組合を組織するためオルグとして派遣されてきます。

ノーマはモーターで泊った男からひどい仕打ちをされ殴られた時、ルーベンにやさしくされ心ひかれますが、彼女は同じ工場で働くハンサムソニー「あの空に太陽が」のポー・ブリッジスに求婚され、ソニーと結婚します。

ソニーは心やさしい男性ながら、平凡な生活を望み、ノーマがルーベンを通して組合活動をするようになるのに批判的でした。

★女性の自立——愛と結婚を通してノーマの素晴らしき精神の成長に熱い拍手が……

ノーマは工場側に労働条件の改善を要求しますが、会社側は彼女を買収しようとし、平女工から工員たちの仕事を点検する係に昇進させ、給料もあげられます。その結果、彼女は同僚たちから工場側のスパイと疑われるようになり、

ノーマは平女工にもどる、夫の反対を押し切って自宅で集会を開くようになり、家事もどこおりがちの彼女に夫は不平をいい、二人は言い争うことも多くなります。女性が家庭を持つて働くことは、はたしてどういふことなのか?——女性には真の自立はないのか?——

ノーマは、仲間たちに組合に参加することを呼びかけ、働くものは手をとるあわなければならぬと訴えます。彼女の情熱的な行動を恐れ会社は警官を導入し、ノーマは逮捕されます。しかし、ルーベンの保釈金によって釈放されます。圧倒的なクライマックスは、「いちご白書」以来の感動と涙を誘う迫力です。

テレビの「ギジエットは15歳」などでテイーンのアイドルとしてスターになったサリーは、「トランザム7000」などで人気を集めています。演技派女優へのめざましい転身には誰しも驚嘆せざるはいられません。

従来の女性映画になかったたくましく情熱的な、生活と闘う前向きな新しいヒロインに熱い拍手が起こっています。



次回話題のロードショー

お得な特別鑑賞券1000円(一般1300円(学生1100円)の処)絶賛発売中!

新宿武蔵野館 (354) 5670

上映時間
 連日 12:00 2:20 4:40 7:00